

コンピュータ概論 A/B

-- プレゼンテーション資料の作り方 --
(PowerPoint の使い方)

数学科 栗野 俊一 (TA: 浜津 翔 [院生 2 年])

2014/12/02 コンピュータ概

伝言

私語は慎むように !!

□ 席は自由です (出席パスワード : 20141202)

- できるだけ前に詰めよう

- 教室にきたら直ぐにやる事

 - ▶ PC の電源 On / ネットワーク接続 / Web を参照する / skype を起動する

□ 色々なお知らせについて

- 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

- 2014/12/08(来週の月曜日) の 2 限目に「補習」を行います

 - ▶ 場所 : 1214 (この部屋の前) / 時間 : 2 限 / 内容 : 質問等.. / 対象 : 希望者

□ Local Server

 - ▶ 10.9.209.128 (VNC) : 画面の操作を見ることができます (PW : vnc-2014)

 - ▶ 10.9.209.88 (Web) : 普段のサーバより速いはずです

今後の予定

□ 今後の予定(後ろから)

○ 2015/01/27 (講議最終日)

▶ 試験を行う

○ 2015/01/20 (試験前)

▶ 模擬試験を行う

○ 2015/01/13

▶ 講議最終日

○ 2015/01/06, 2014/12/30, 2014/12/23

▶ 冬期休暇期間中, 天皇誕生日 (祝日): この間、講議はない

○ 2014/12/16, 2014/12/09

▶ 通常講議 (MS-Office 関連)

○ 2014/12/15 : 補習しません

○ 2014/12/08 : 補習をします

▶ 2 限 [10:40 ~ 12:10] / 1214 教室

○ 2014/12/02 (本日)

▶ PowerPoint の基本

前回(2014/11/25)の内容

□ 前回(2014/11/25)の内容

○ TeX のマクロ(2) : 引数付きマクロ

- ▶ マクロに引数を付ける事ができる → より柔軟な表現が可能
- ▶ 定義: `\newcommand{マクロ名}[引数の個数]{引数(#n)を含む表現}`
 - ◇ `\newcommand{\An}[2]{#1_1, #1_2, ..., #1_{#n}}`
- ▶ 利用: `マクロ名{引数1}{引数2}..{引数n}`
 - ◇ `\An{a}{n} → a_1, a_2, ..., a_{n}`
 - ◇ `\An{b}{k} → b_1, b_2, ..., b_{k}`

○ Sakura Editor のマクロ : キーボードマクロの定義と利用

- ▶ 編集における定型作業を Sakura に実行させる事によって、自動化できる
- ▶ キーボードマクロ(作業内容を記録して再実行させる仕組み)の使い方
- ▶ マクロの登録/ショートカットキーの設定の仕方(マクロをキー操作で呼び出す)

本日(2014/12/02)の予定

□ 講義

- プレゼンテーションとは
- PowerPoint の使い方

□ 実習

- [演習 1]PowerPoint の使い方
- [演習 2] 数式の入力(TeXCrop)
- [演習 3] 演習課題の作成

本日の課題 (2014/12/02)

□ 前回 (2014/11/25) の課題

○ 次のファイルを提出しなさい

- ▶ 表題 : 自家製サクラマクロ
- ▶ ファイル名 : 20141125-QQQQ.mac (QQQQ は学生番号)
- ▶ 詳しくは、配布した sample-20141125.mac の内容を参照

□ 今回 (2014/12/02) の課題

○ 次のファイルを提出しなさい

- ▶ 表題 : PowerPoint の基本
- ▶ ファイル名 : 20141202-QQQQ.pptx (QQQQ は学生番号)
- ▶ 詳しくは、配布した sample-20141202.pptx の内容を参照

プレゼンテーションとは

□ プレゼンテーションの必要性

○ 数学の証明を **proof** と言うが ..

▶ **proof** の意味は「説得」

▶ 説得 : ある事実を「他人に受け入れてもらう」必要がある

○ 「論理」に訴えるだけで良いのであれば ..

▶ 数学の証明で OK

○ 「感情」に訴える事も必要かもしれないなら ..

▶ 「プレゼンテーション」の技術が必要となる

□ プレゼンテーション技術とは (What)

○ 自分の主張を上手に提示し、他人を説得する技術

▶ プレゼンテーションの例 : 講義・授業/学会発表/ゼミ/課題発表(代幾/微積の演習)

□ プレゼンテーション技術は習得可能な技術 (How to)

○ 「顰み」に習え : 上手なプレゼンテーションを真似(まね)ろ

▶ スティーブ・ジョブスやビル・ゲイツに学べ

▶ 回りに「話の得意な」先生は居ないか? 何故、解り易い? (講義を聞いて習得する..)

○ 他人の振り見て.. : 「批判的(その話は本当なの?)」に話を聴こう

▶ あの先生の話は、何故、解り難い (反面教師)

プレゼンテーション例 (ゼミの卒論発表)

□ 吉開・栗野ゼミの特徴

○ 卒業発表がある

- ▶ プレゼンテーション技術は必須

□ ゼミの卒業発表

○ プレゼンテーション資料を作成し、発表を行う

- ▶ レジューメ: 内容を A4 二枚 / 発表時に配布する
- ▶ スライド: プレゼンテーション資料 / プロジェクタで表示する

○ 発表時間は 12 分 + 質問時間 3 分

- ▶ 学会の全国大会と同じ形式

□ プレゼンテーションの例

○ 「スライドの作り方」というプレゼンテーション

- ▶ テンプレートに従う
- ▶ 分割統治する

□ スライド資料の作成スタイルは色々

○ どれでも良いから一つは身に付ける

- ▶ 後は、その応用

PowerPoint

□ PowerPoint とは

○ MS-Office のプレゼンテーションツール

▶ スライド資料の作成と提示を行う

○ Office Tool 内の役割

▶ Excel : 帳表データの作成/提示

▶ Word : 企画書類の作成(読む資料/レジюме)

▶ PowerPoint : プレゼンテーション

□ PowerPoint のインパクト

○ レジюмеとスライド資料は異なる

▶ 「プレゼンテーション資料作成には専用ツールが必要」というプレゼンテーション

▶ それ以前は、スライド資料も MS-Word 等で作っていた.. (TeX でも作れるし..)

○ ポスターの作成による情報提示

▶ コミュニケーションツールとしては、Word/Excel より重要か？

演習

- [演習 1] PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成
 - 全体 : 背景やレイアウトの指定
 - 個別 : 表紙 / 箇条書き / 図形 / アニメーション
- [演習 2] TeXCrop による数式の貼り付け
- [演習 3] 課題作成
 - 20141202-QQQQ.pptx (QQQQ は学生番号)
 - 内容 : PowerPoint の基本
 - 詳しくは、配布した sample-20141202.pptx の内容を参照

[演習 1] PowerPoint

□ PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成

○ PowerPoint の起動

▶ [スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office 2013]→[PowerPoint 2013]

○ 新規スライドの作成

▶ [新しいプレゼンテーション] を選択

▶ 背景やレイアウトを選択 (後から、変更する事もできる)

▶ [作成] ボタンで作成

○ タイトル

▶ [タイトルを入力]/[サブタイトルを入力] を選んで、内容を変更する

○ 新しいページの追加

▶ [新しいスライド] を選択

○ 箇条書

▶ [Tab] で深くなる / [Shift]+[Tab] で浅くなる

○ 図形や表

▶ 他のソフトで作成した図や表を貼り付ける事ができる

○ アニメーション

▶ 文字列を指定して、クリック時の効果を指定できる

[演習 2] TeXCrop の利用例

□ PowerPoint での数式

○ スライド内で数式を表示したい

▶ マイクロソフト提供のソフト(数式エディタ)もあるが.. 自分で調べよう

○ TeXCrop を利用して、次の式を PowerPoint に貼り付ける

▶ 数式の表現には TeX が利用できる

□ 数式の例

$$\int_{-1}^1 \sqrt{1-x^2} dx = \frac{\pi}{2}$$

□ 数式の TeX 表現

`\int_{-1}^1 \sqrt{1-x^2}\, dx = \frac{\pi}{2}`

□ TeXCrop の Page

<http://www.fukudat.com/wiki/ja/TeXCrop>